

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	その他
	事務事業	敬老事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	老人の日前後に、75歳以上の方に対し、長寿をお祝いする催しを各地区で開催する。また、節目の年（88歳、99歳以上）の方へは祝金を贈呈し、100歳及び市内男女最高齢者の方へは加えて祝品を贈呈する。				
	30年度概要	88歳に20,000円、99歳に30,000円の敬老祝金を支給する。100歳及び男女最高齢者へ祝品を贈呈する。			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類			

【事業の目的】

対象（何を）	75歳以上の高齢者等
意図（どのような状態にしたいか）	敬老祝金などを贈呈することにより、高齢者の長寿と健康を祝うとともに、高齢者に対する敬意の意を啓発する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
敬老祝品贈呈件数	件		143	132	130	106
敬老祝金支給件数	件		2,360	2,570	2,187	6,219

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	敬老事業参加率	%	目標値		100	100	100	100
	実績値			100	100			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 各コミュニティ協議会において実施でき、目標を達成できた。 (目標達成度)			(達成度)		100.0%		35点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)			(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	59,241	60,827	64,556	53,875
（事業費）	[千円]	51,410	52,976	56,969	46,288
（職員人件費）	[千円]	7,831	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	縮小
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
各地区において敬老会事業が、行われた。また、敬老祝金及び祝い品についても対象者へ贈呈することで、高齢者自らの生活意欲の向上へつながった。事業の一部見直しを行ったものの、今後の高齢者増加に伴い、事業費の増加が見込まれる。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
高齢者の増加に伴う事業費の増加及び平均寿命の更なる延伸が見込まれるため、長期的な視点から内容を検証する必要がある。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者福祉通信機器貸与等事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	福祉電話を一人暮らし高齢者等に貸与し、日常生活の不安の解消を図るとともに、緊急時に押しボタンにより異常事態を関係機関へ通報できる緊急通報装置を貸与する。 なお、緊急通報装置については、平成27年度から29年度までに「あんしん通報サービス事業」へ移行した。
-------	--

30年度概要	高齢者福祉電話の貸与 112件
--------	--------------------

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------

【事業の目的】

対象(何を)	65歳以上の一人暮らし高齢者等
意図(どのような状態にしたいか)	一人暮らし高齢者等の孤独感の解消を図るとともに、急病、災害その他緊急時に迅速かつ適切な対応を図ることができる。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
高齢者福祉通信機器貸与件数	件		752	112	136	136

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
	高齢者福祉通信機器貸与率	%	目標値		8.3	1.4	1.4	1.4
			実績値		7.8	1.2		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 85.7% 29点
	<p>目標を達成できなかった。福祉電話について、その他の安価な連絡手段の発展により、新規設置者数が少なかったため。平成30年度より福祉電話事業については、新規の受付を中止する見直しを行った。</p>	(目標達成度)						
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	20,877	7,275	6,369	6,070
(事業費)	[円]	7,058	3,349	2,575	2,276
(職員人件費)	[円]	13,819	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク(A~D)	C	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	縮小
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

福祉電話については、見直しの結果、平成30年度からの新規受付を取りやめることとなった。利用者は引き続き利用できる。また、高齢者緊急通報装置については、利用者への訪問・電話連絡を行い、あんしん通報サービスへの移行を完了することができた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

高齢者福祉電話事業については、他の取組との関係を整理する中で、平成30年度から新規受付を中止する見直しを行い事業を縮小していく。現状の利用者に対しては、今後もサービスを提供していく。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	在宅高齢者家族支援事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	在宅で高齢者を介護している方に、各種サービス（老人短期入所事業・介護見舞金支給事業）の提供をし、高齢者の住み慣れた在宅での生活を支援する。		
	30年度概要	在宅で高齢者を介護している方に、各種サービス（老人短期入所事業・介護見舞金支給事業）の提供をし、高齢者の住み慣れた在宅での生活を支援する。	
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

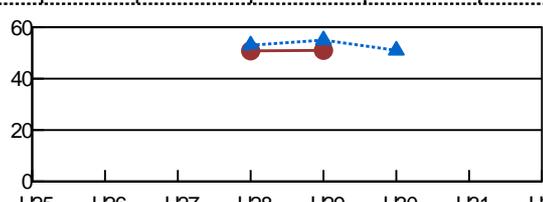
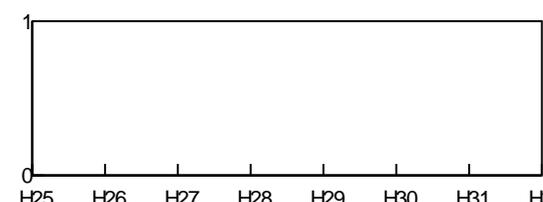
【事業の目的】

対象（何を）	介護保険要介護認定者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者の保健衛生の向上と家族の介護の軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
在宅寝たきり高齢者等介護見舞金支給人数	人		785	733	776	977

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
在宅認定者率（要介護4、5）	%	目標値		53	55	51	55
		実績値		50.8	51		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 介護者に対する日常生活の負担軽減を図り、在宅での生活を支援したが、施設入所する高齢者の増加等により、目標を達成できなかった。 	(目標達成度)						(達成度) 92.7% 32点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	54,710	54,022	51,133	53,937
（事業費）	[円]	47,954	46,171	43,546	46,350
（職員人件費）	[円]	6,756	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
制度の周知のため、広報紙やホームページ等に掲載をしたが、申請者数は減少した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
制度について広く周知を図り、在宅介護の環境を整える。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	寝たきり高齢者等支援事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	概要	寝たきり又は認知症等の高齢者に紙おむつを2か月ごとに対象者宅に配布するほか、一人暮らし高齢者等に火災警報器、自動消火器、電磁調理器を給付する。		
	30年度概要	寝たきり又は認知症等の高齢者に紙おむつを2か月ごとに対象者宅に配布するほか、一人暮らし高齢者等に火災警報器、自動消火器、電磁調理器を給付する。		
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	寝たきり等の高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	日常生活上の不安を和らげ、在宅での生活を支援する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
紙おむつ給付延件数	件		18,261	18,879	19,209	20,177

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	施策に対する満足度(市民満足度調査)	%	目標値		25	25	25	25
			実績値		23.9	22		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 紙おむつ及び日常生活用具の給付により、在宅高齢者の日常生活を支援し、地域包括ケアの構築に貢献し、目標を概ね達成できた。	(目標達成度)						(達成度) 88.0% 30点
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	69,634	64,487	65,138	68,046
(事業費)	[円]	61,957	56,636	57,551	60,459
(職員人件費)	[円]	7,677	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
紙おむつ及び日常生活用具の給付により、在宅高齢者の日常生活を支援し、地域包括ケアの構築に貢献している。紙おむつの給付については、タイプ別の枚数が決まっているため、対象者によっては、余りが生じている。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
事業の周知を行うとともに、紙おむつの給付についてのニーズ調査や給付方法について検討し、高齢者や家族のニーズに合った方法を検討する。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者と施設の交流事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	委託先の特別養護老人ホームにおいて調理された食事を、社会福祉協議会員や民生委員の協力を得て対象者の家庭に配食する。配食回数は1人当たり年間100食程度（週2回）。				
	30年度概要	委託先の特別養護老人ホームにおいて調理された食事を、社会福祉協議会員や民生委員の協力を得て対象者の家庭に配食する。配食回数は1人当たり年間100食程度（週2回）。 利用者負担金 400円 委託先 22施設			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型			

【事業の目的】

対象（何を）	65歳以上の一人暮らし高齢者等で食に関する支援が必要である人
意図（どのような状態にしたいか）	委託先の特別養護老人ホーム等の保有する給食機能を地域社会に開放することにより、高齢者に栄養のバランスのとれた食事を提供する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
高齢者と施設の交流事業延べ配食数	食		34,760	34,653	43,380	28,392

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	配食を受けた高齢者率	%	目標値		5.5	5.5	5.5	5.5
			実績値		4.8	4.9		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新規に事業を実施した施設が無かったため、目標値を達成できなかった。 (目標達成度)							(達成度) 89.1% 31点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	14,803	17,254	17,105	11,986
（事業費）	[円]	12,500	14,114	14,070	8,951
（職員人件費）	[円]	2,303	3,140	3,035	3,035

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 現在、市内全域で実施できていない為、制度の普及促進につながる方策を検討する必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 市内全域で事業が実施できるよう、未実施地区にある施設へ事業参入を積極的に働き掛けるなどし、事業拡充に努める。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成	課(室)名	長寿福祉課	
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充	事業実施主体	市	
	事務事業	軽度生活援助事業	事業期間	平成28年度～平成35年度	

【事業全体概要】

事業の概要	在宅の一人暮らし高齢者等に対し、生活を支援する者を派遣し、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止することを目的とする。事業は、公益社団法人高松市シルバー人材センターに委託して実施する。			
30年度概要	シルバー人材センターに委託し、65歳以上の一人暮らし高齢者の軽易な日常生活上の援助を行う。市は利用者の利用時間に基づいて、委託料として、委託先の高松市シルバー人材センターに支払う。			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務	

【事業の目的】

対象(何を)	65歳以上の一人暮らしの高齢者等
意図(どのような状態にしたいか)	自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止することを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名(具体的などのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
軽度生活援助事業登録受付件数	件		3,090	3,028	3,165	3,165

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	軽度生活援助利用率	%	目標値		33	33	35	35
			実績値		32	32		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	申請者の状況を見極め登録事務を進めているものの、入所等で利用できない場合などにより、利用率は横ばい状態となっているが、目標は概ね達成できた。	(目標達成度)						
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
		(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	37,234	37,450	29,406	31,253
(事業費)	[円]	33,395	34,310	26,371	28,218
(職員人件費)	[円]	3,839	3,140	3,035	3,035

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
高齢者の在宅での生活の継続を目指すため、サービスを提供しているが、利用者が特に伸びているというわけではなく、本サービスについての周知がまだ不十分であると考えられる。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
新しい総合事業への移行を促進する中で、高齢者の経験と知識を生かし、生きがいを持って就業できるには、どのようなメニューが利用できるか、シルバー人材センターと協議し、会員の増加を目指す。			

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者福祉タクシー助成事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	外出することが難しい在宅の高齢者からの申請により、年度内有効のタクシー助成券を15枚（1枚当たり小型車の初乗り運賃相当）を交付することにより、外出支援を図ることを目的とする。		
30年度概要	外出が困難な高齢者の外出支援のためタクシー券を給付する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	外出することが難しい在宅の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	外出することが難しい在宅の高齢者の外出を支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
タクシー助成券交付者数	人		3,138	3,247	3,300	3,472

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	タクシー助成券利用率	%	目標値		45	50		50
			実績値		48.7	47.5		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 制度利用の周知を図ることで、目標を概ね達成することができた。 (目標達成度)							(達成度) 95.0% 33点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	17,514	18,232	18,149	19,065
（事業費）	[円]	13,675	14,306	14,355	15,271
（職員人件費）	[円]	3,839	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 高齢者の外出支援に、タクシー助成券は一定の役割を果たしている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 今後、他市の状況や現状を調査し、改善策を検討しながら外出困難な高齢者に対し外出支援を行っていく。			

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	老人クラブ活動助成事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	老人クラブが行う活動事業を補助する。			
30年度概要	多年にわたり老人クラブ活動を積極的に推進したと認められ、高松市長感謝状贈呈該当者推薦基準を満たす者に対して、感謝状等を贈呈する。 老人クラブ活動等事業運営要綱（高齢者地域福祉推進事業）に基づき、高松市内の単位老人クラブが行う活動事業費の一部や単位老人クラブを包括する高松市老人クラブ連合会事務局の運営費の一部を補助する。			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

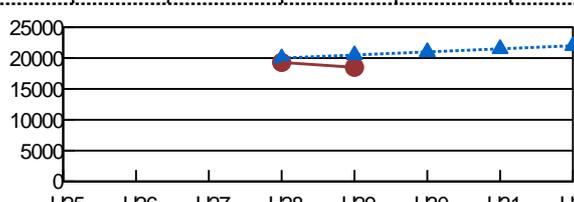
【事業の目的】

対象（何を）	市内居住 60 歳以上の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者ができる限り自立し、生きがいをもち、安心して暮らせるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金交付件数（単位クラブ）	件		375	366	376	376

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
老人クラブ会員数	人	目標値		20,000	20,500	21,000	21,000
		実績値		19,295	18,501		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標は概ね達成できたが、会員数は減少しているため、地域の未加入高齢者に対して、老人クラブの活動内容を周知し、より一層、会員数の増加促進を行っていく必要がある。 							(達成度) 90.2% 31点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	43,357	39,108	37,227	36,920
（事業費）	[円]	37,599	36,753	34,951	34,644
（職員人件費）	[円]	5,758	2,355	2,276	2,276

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
スポーツ大会等、各種事業を実施することにより、高齢者の心身の健康保持の増進に貢献した。 課題として、会員数が減少傾向にあるため、地域の未加入高齢者に対して、老人クラブの活動内容を周知し、より一層、会員数の増加促進を図る必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
香川県老人クラブ連合会とも連携しながら、老人クラブの活性化に向けた支援に努める。			

平成30年度(29年度決算分)高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	シルバー人材センター運営補助事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	市内に居住する60歳以上の正会員と学識経験者等の特別会員及び事業主体等の賛助会員の自主運営により、高齢者の就業機会を増大させ、生きがいつくりと社会活動への参加を促進する。		
30年度概要	市内に居住する60歳以上の正会員と学識経験者等の特別会員及び事業主体等の賛助会員の自主運営により、高齢者の就業機会を増大させ、生きがいつくりと社会活動への参加を促進する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務

【事業の目的】

対象(何を)	市内に居住する60歳以上の高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者の就業機会を増大させ、生きがいつくりと社会活動への参加を促進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
補助金交付件数	件		1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
成果指標	シルバー人材センター会員数	人	目標値		2,067	2,067	1,860	1,860
			実績値		1,845	1,770		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標は概ね達成できたが、会員数が減少していることから、事業内容等の広報活動の支援等により、会員数の増加促進を行っていく必要がある。 (目標達成度)			(達成度) 85.6% 29点				
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	21,283	20,309	19,336	19,336
(事業費)	[円]	17,444	17,954	17,060	17,060
(職員人件費)	[円]	3,839	2,355	2,276	2,276

【評価】

評価ランク(A~D)	B	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
シルバー人材センターについての事業内容を、より広く知ってもらえるよう広報活動を支援する。高齢者の生きがいつくりや就労機会が多様化していることもあり、会員数の減少がみられる。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
引き続き、シルバー人材センターについての事業内容を、より広く知ってもらえるよう広報活動を支援する。また、実績報告等を精査し、補助金の適正執行に努める。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者生きがいデイサービス事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会福祉法人等が設置しているデイサービスセンターにおいて、日常生活に支障のある高齢者や家に閉じこもりがちな高齢者に送迎・食事・入浴・レクリエーション活動等のデイサービスを提供する。		
30年度概要			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

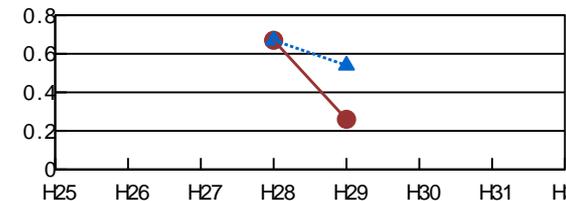
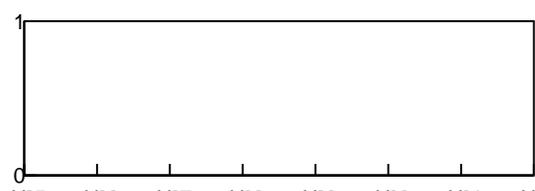
【事業の目的】

対象(何を)	高松市内に住所を有するおおむね65歳以上の日常生活に支障のある高齢者や、一人暮らし又は高齢者のみの世帯の方で、家に閉じこもりがちな高齢者。 ただし、介護保険の要介護・要支援認定を受けた方及び事業対象者となった者は対象外。
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者の自立生活の助長及び要介護状態になることの予防を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
高齢者生きがいデイサービス登録受付件数	件		591	241		283

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	高齢者生きがいデイサービス登録率	%	目標値		0.67	0.54		0.45
			実績値		0.67	0.26		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 要介護認定者の増加や、新しい総合事業が始まったことで、生きがいデイサービスの対象者が減少している。 平成29年度で事業が廃止となり、介護保険・総合事業へ移行している。  (目標達成度)			 (達成度) 48.1% 16点				
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		(目標達成度)	 (達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	17,866	15,389	12,405	
(事業費)	[円]	14,795	13,819	10,888	
(職員人件費)	[円]	3,071	1,570	1,517	

【評価】

評価ランク (A~D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	廃止
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
平成29年度末で事業が廃止となり、介護保険、総合事業へと移行している。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
新しい総合事業へ移行したため、平成29年度末で事業は廃止となった。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者福祉施策推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施すると共に高齢者福祉サービスについて広く周知する。			
	30年度概要	第7期高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施すると共に高齢者福祉サービスについて広く周知する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務	

【事業の目的】

対象(何を)	65歳以上の高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者が住み慣れた地域社会で、健康で生きがいを持って生活を送ることができるようにする

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
高齢者在宅福祉サービスリーフレット作成部数	部		15,000	14,000	10,000	10,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標	施策に対する満足度(市民満足度調査)	%	目標値		25	25	25
			実績値		23.9	23.9		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施するとともに高齢者福祉サービスについて広く周知し、概ね目標を達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 95.6% 33点
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	16,914	19,215	29,895	31,222
(事業費)	[千円]	10,772	15,289	18,514	19,841
(職員人件費)	[千円]	6,142	3,926	11,381	11,381

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

第7期高松市高齢者保健福祉計画を策定した。
また、民生委員等に各施策について周知し、協力をお願いしている。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

第7期高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施すると共に高齢者福祉サービスについて広く周知する。
また、市政出前ふれあいトークや高齢者のためのあんしんガイドブックの配布、高齢者の居場所づくりなどの様々な機会を活用し、市民への周知も、継続して行う。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価 担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者居場所づくり事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者が生きがいを持って地域で元気に暮らせる環境を整備するため、高齢者が地域で気軽に足を運べ、介護予防や健康づくりのほか、ボランティア活動の拠点となる居場所づくりを支援する。			
30年度概要	地域の多世代が交流する「地域に根ざしたコミュニティスペース」として機能するよう、継続支援を行う。また、医師会、歯科医師会、医療系大学等との連携事業を実施し、希望する居場所で、医療や口腔ケアの講座等を行い、介護予防や健康増進多世代交流等を行う。			
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型

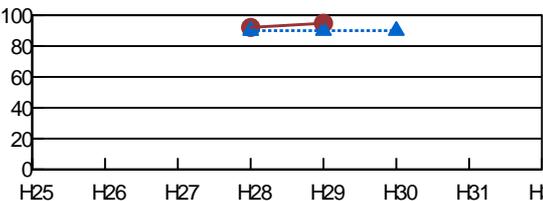
【事業の目的】

対象(何を)	おおむね65歳以上の高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者等が気軽に集うことができる建物等のスペースを介護予防、健康増進、子どもたちを交えた世代間交流の場、地域のボランティア活動など様々な活動の拠点として整備することで、高齢者の介護予防や健康づくりを推進することを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
居場所設置数	か所		240	244	300	300

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
主観的健康感の維持向上率	%	目標値		90	90	90	90
		実績値		92.1	94.8		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 居場所に出かけることで、地域とのつながりができ、また体操等により介護予防の効果が現れ、参加者の健康の低下を防ぐことができたことなどから、目標を達成できた。 	100	(目標達成度)					(達成度) 105.3% 35点
成果指標名(どのような成果が得られたか) 成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	27,180	25,855	22,616	25,205
(事業費)	[千円]	19,503	18,004	12,753	14,583
(職員人件費)	[千円]	7,677	7,851	9,863	10,622

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
居場所の必要性や効果、子どもとの交流の仕方など記載した、ガイドブックを作成し、居場所の継続と世代間交流の支援を行った。今後も、目標としている300か所に向けて、市民や関係者への周知を行う。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
随時、新規募集を受け付け、居場所数の増加を図るほか、既に活動している居場所に対して、更なる活動支援を行うため、医師等による医療や口腔ケアの講座等を、希望する居場所で開催するほか、居場所出会いブック、多世代交流ガイドブックを活用し、多世代交流拠点となるよう支援する。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者見守り事業		事業期間	平成28年度～平成32年度

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者が地域で安心して暮らし続けられる環境を整備するため、定期的な高齢者の訪問や配食サービスによる安否確認や、24時間365日介護や日常生活の不安を相談できる専用ダイヤルの開設など、高齢者の見守り事業を推進する。また、徘徊高齢者等の早期発見につなげるため、位置情報探索システム(GPS)や高松市徘徊高齢者等保護ネットワークを活用し、電子メール配信システムの運用により迅速かつ広範囲への情報伝達を行うことで、認知症等が原因で徘徊する高齢者の早期発見・保護に取り組む。				
30年度概要	【見守り事業】特別あんしん見守り事業、地域で支えあう見守り協定事業、介護相談専用ダイヤル事業、のびのび元気体操普及事業、移動販売車購入等補助事業、ICTを活用した見守りシステム構築事業等の事業を推進し、地域における見守り体制を強化する。 【徘徊高齢者家族支援事業】GPSを普及し、電子メール配信等により徘徊高齢者の早期発見・保護に努める。				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)

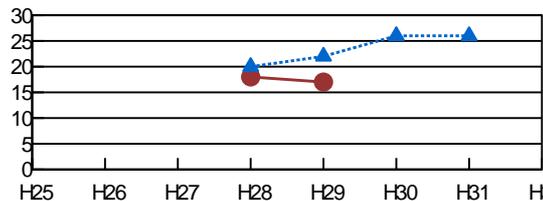
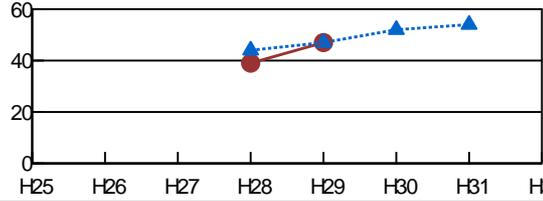
【事業の目的】

対象(何を)	65歳以上高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者の在宅における日常生活を支援するとともに、事故の未然防止や早期対応を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
見守り協定締結事業者数	事業者等		69	76	80	80
配食見守り事業利用者数	人		491	703	792	792

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
見守り協定に基づく通報件数	件	目標値		20	22	26	26
		実績値		18	17		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 協定事業者数は増加しているが、通報が必要かどうかを見極め、通報する機会が増えたことや、見守り体制が充実したことなどにより通報件数は横ばいとなっており、目標を達成できなかった。 	(目標達成度)						(達成度) 77.3% 27点
見守り対象としたハイリスク高齢者のカバー率	%	目標値		44	47	52	52
		実績値		39	47		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 協定事業者数の増加と、制度の習熟により目標を達成できた。 	(目標達成度)						(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	28,768	57,268	73,471	99,218
(事業費)	[千円]	21,091	47,062	63,608	88,596
(職員人件費)	[千円]	7,677	10,206	9,863	10,622

【評価】

評価ランク(A~D)	A	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

あんしん通報サービスに移行作業が終了したことにより、サービス内容が一律になり、消防に出動依頼件数が減少し、早急に適切な対応ができるばかりでなく、費用面でも抑えることができた。
特別あんしん見守り事業の課題として、対象者に対し効果的な見守り方法を検討する必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

複合的に事業に取り組むことで、見守り体制の充実に取り組む。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	介護保険課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2326
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	介護相談員派遣等事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要
 一定の研修を受けた登録相談員を介護サービス事業所等に派遣して、利用者等の話を聞き、相談に応じるなどにより、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、派遣を受けた事業所における介護サービスの質的な向上を図るもの。

概要
 30年度 相談員派遣 18人・36施設
 連絡会議の開催(月1回)

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象(何を)	介護相談員の派遣を希望する介護保険サービス事業所
意図(どのような状態にしたいか)	介護サービス利用者の日常的な不平、不満又は疑問に対応して、苦情に至る事態を未然に防止するとともに、派遣を受けた事業所における介護サービスの質的な向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
介護相談員派遣延べ回数	回		442	598	540	540

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	介護相談員が受けた相談件数	件	目標値		2,688	3,808	4,320	4,320
			実績値		3,312	4,910		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 利用者との信頼関係の構築を図ることにより、目標を上回っている。しかし、介護相談員数及び派遣希望事業所数はともに伸び悩んでおり、今後の課題が残る。 							(達成度) 128.9% 35点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	6,670	9,484	10,013	11,338
(事業費)	[千円]	2,064	1,633	2,426	3,751
(職員人件費)	[千円]	4,606	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	---	---------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

相談員数を2名増員し14名とし、また、派遣施設を2事業所増やし、合計23事業所とし、利用者の利便性の向上を図った。今後、更に利便性の向上を図るため、介護相談員及び派遣施設の拡充に努めるが、派遣受入れの希望がある事業所は少ない。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

派遣施設の拡充を図るため、実地指導等の機会に合わせてサービス事業者に対し当事業の周知啓発を行う必要がある。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域包括支援センター
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	839-2811
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	認知症ケア推進事業		事業期間	平成28年度～平成32年度

【事業全体概要】

事業の概要	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の実現を目指し、認知症の人や家族を支援する「認知症地域支援推進員」の配置、状態に応じた適切なサービス維持のための「認知症ケアパス」の普及や、認知症の初期から複数の専門職が訪問支援等を行う「認知症初期集中支援チーム」の設置・運営を行う。				
30年度概要	認知症初期集中支援チーム設置・運営 認知症初期集中支援チーム検討委員会開催 認知症地域支援推進員配置 認知症ケアパス（リーフレット）作成・普及啓発 認知症カフェ設置				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	認知症やその疑いのある人が、状態に応じて必要な医療や介護等のサービスが受けられるよう、医療・介護等の関係機関へつなぐことで、住み慣れた地域で生活を継続することができる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
認知症地域支援推進員が受けた認知症に関する相談実件数	件		236	295	240	240
認知症初期集中チームによる訪問実件数	件		6	12	90	90

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
相談件数のうち、医療等のサービス支援につながった数	件	目標値		120	120	120	120
		実績値		101	64		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 認知症地域支援推進員が受けた相談件数は前年度を大幅に超える数値となったが、既に医療・介護等につながっている方の相談が多かったため、実績値は増加しなかった。 							(達成度) 53.3% 18点
訪問件数のうち、医療や介護サービス等につながった実人数	人	目標値		45	90	90	90
		実績値		5	12		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 認知症初期集中支援チームによる訪問件数のうち医療や介護保険サービス等につながった割合は100%である。目標値は国のモデル事業から割り出した件数であるため、本市の実態とは、かけ離れた目標値を見込んだため達成度は低い。 							(達成度) 13.3% 4点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	8,203	15,815	16,367	21,488
（事業費）	[円]	2,829	4,038	4,986	10,107
（職員人件費）	[円]	5,374	11,777	11,381	11,381

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

認知症地域支援推進員数を7人から9人に拡充することで相談件数も大幅に増え、市民のより身近な地域包括支援センター・サブセンターでの相談窓口が広がった。また、認知症初期集中支援チームの活動については周知・啓発方法についての課題を残す。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

認知症地域支援推進員数を常に安定して確保し、認知症の相談に対応し、認知症初期集中支援チームとの連携を密に図っていく。必要な認知症初期集中支援事業を利用できるようにチームの活動内容や効果を周知する。また、チーム員の質の向上を目指し、チーム員活動の研修を実施する。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域包括支援センター
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	839-2811
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	地域ケア会議推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者が介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせることのできる地域包括ケアシステムを実現するため、介護支援専門員からの相談体制を整えるとともに、地域ケア会議関係者のスキルアップを図るための研修会を開催するなど、「地域ケア会議」を実効性のあるものとして、定着・普及する。				
30年度概要	地域ケア会議 年2回 地域ケア小会議 ・地域課題：44地区 ・個別課題：ケース検討 20回、ケアプラン検討 32回 地域ケア小会議に係る研修会等の開催 5回				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト 4-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の居宅介護支援事業所等の介護支援専門員
意図（どのような状態にしたいか）	居宅介護支援事業所等の介護支援専門員が主体的に地域ケア小会議の事例を提供し、検討することができる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
地域ケア小会議開催回数	回		178	333	108	108
居宅介護支援事業所等の介護支援専門員からの相談件数	件		655	909	1,500	1,500

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	地域ケア小会議（地域課題）を開催している地区の割合	%	目標値		100	100	100	100
			実績値		52.3	84.1		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 地域ケア小会議は、地域課題検討を地域福祉ネットワーク会議と合わせて開催した。29年度は37/44地区に広がり、開催回数も増加した。 (目標達成度)							(達成度) 84.1% 29点
成果指標	事業所等の介護支援専門員が事例提供した割合	%	目標値		50	50	50	50
			実績値		53.5	83.3		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 今年度は、地域ケア小会議を個別ケース検討から、自立支援に向けたケアプラン検討に主眼を置いたことにより、介護支援専門員の事例提供数が増加し、介護支援専門員のスキルアップを図ることができた。 (目標達成度)							(達成度) 166.6% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	15,668	15,887	15,335	16,014
（事業費）	[円]	314	185	161	840
（職員人件費）	[円]	15,354	15,702	15,174	15,174

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

地域ケア小会議（地域課題）を開催し、生活支援コーディネーター及び関係団体との連携の積み重ねにより、新しい社会資源の創出に繋がったが、まだ7地区が残っている。直営対象としたケアプラン検討を実施し、介護支援専門員のスキルアップを図ったが、今後は60%近くを占める委託先介護支援専門員に広げていく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域ケア会議では、地域ケア小会議で明確になった地域や個別の課題の解決策を政策化し、地域包括ケアシステムの構築を推進する。また、地域ケア小会議（個別課題）では自立支援に向けたケアプラン検討及び多職種との連携によるネットワーク構築を図る。また、3段階のレベル別研修を開催し、自立支援のための介護支援専門員のスキルアップを図っていく。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	瓦町健康ステーション事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市瓦町健康ステーションにおいて、市民の「健康づくり」や「生きがいつくり」の事業を推進し、福祉の増進を図る。		
30年度概要	瓦町FLAG8階IKODE瓦町に設置している高松市瓦町健康ステーションの運営を行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務

【事業の目的】

対象(何を)	高松市に居住する人
意図(どのような状態にしたいか)	市民の健康づくりの場として、誰もが利用しやすい環境を整える。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
瓦町健康ステーションの開館日数	日		360	358	359	359

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	瓦町健康ステーションの年間来場者数	人	目標値		29,000	34,000	34,000	34,000
			実績値		33,961	20,224		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 会議室での健康づくりや介護予防に関する講座の参加者については、前年度より増加したが、会議室の利用者については、前年度に大きなイベントがあり、利用者が多かったため、前年度より人数が減少しており、目標を達成できなかった。 (目標達成度)						(達成度) 59.5%	
								20点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]		32,651	31,298	36,398
(事業費)	[千円]		24,800	27,504	28,811
(職員人件費)	[千円]		7,851	3,794	7,587

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
会議室については、前年度と利用内容が異なることから集客率に大きな差があり、利用者数が減少しているが、施設利用者に対するアンケートからも満足度が高く、今後も継続する必要がある。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
今後も、公共交通機関の結末拠点の機能を生かしながら、会議室を利用した健康づくりのための講座などを充実させていくことで、利用者の増加を図る。			